

社会教育分野における青少年を対象とした事業実績について

【1. 若ものの学園】

事業目的: 15歳から35歳までの勤労青少年を対象に、社会人として必要な教養を習得し、有意義な余暇活動を送ることができるよう「いつでも・どこでも・だれも」が学べる機会と場を提供し、学習活動の充実を図る。

H30.11.20 現在

平成29年度		平成30年度	
講座名	申込人数	講座名	申込人数
ヒップホップ+ストレッチ	11(3)	いちからはじめる「リズム★ダンス」	16(5)
手づくりしちやお！スイーツ	14(5)	浴衣着付け 2回開催	9(5)
浴衣着付け 2回開催	24(11)	スキンケア・メイクアップ 2回開催	6(1)
Wood work～誰でもできる木工～ 2回開催	8(0)	スイーツ 2回開催	11(3)
正月太りに立ち向かおう！リズム&ダンス	13(7)	ボールペン・ペン習字 4回開催	11(3)
		今すぐできる！身近な防災！！	中止
		チーズの基礎	15(7)
		スキンケア・メイクアップ第2弾	今後開催
合計 5講座 6回開催	70(26)	合計 8講座 12回開催	68(24)
申込者の割合：青少年63%、36歳以上37%		申込者の割合：青少年65%、36歳以上35%	

※（ ）は、内36歳以上の申込者人数。

【2. 根室市青年サークル連絡協議会】

事業目的：根室市内で青年活動をしている団体間の連絡調整や交流を図りながら、青年活動の活性化と育成につなげる。

登録団体数	H29年度 5団体	H30年度 4団体1個人
活動内容等	H29年度	H30年度
ボウリング交流会	24人	12人
青年研修会	1人（中標津町視察）	1人（根室市内視察）
国内研修	2人（東京都）	検討中
活動費補助（登録団体の文化会館使用料2分の1補助）	8回 40,050円	今後集約

※近年、登録団体数の減少と活動の停滞が顕著になっている。

●教職員住宅環境整備事業【教育総務課】

【経過】

現在、教育委員会では 144 戸の教員住宅を保有しており、この内の 56%、81 戸が建築後 30 年以上経過している。

また、30% 42 戸が空き家となっており、内 15 戸が修理不能なほど老朽化している状況にあり、入居率は下降傾向にある。

教員からは、根室市の住宅は古くて高いと言われている。特に教員が勤務地を希望するに際しては、教員住宅の質が重要となっており、根室市は著しく不利な状況となっている。

こうした状況や市の財政状況を踏まえ、教育委員会では、「民間活力を利用した教員専用アパートの整備」を検討している。

【事業目的】

良質の教員住宅を整備することにより、優秀な教員の確保さらには当市の子どもたちの学力向上につなげる。

【今後の方向性】

教育委員会が保有する光洋町の教員住宅跡地を無償で業者に貸与し、1 棟 4 戸 2LDK の単身者・2 人世帯用の 2 階建てアパートを年間 2 棟 8 戸、3 か年計画で合計 6 棟 24 戸整備するもの。

公共サービスの提供を民間主導で行うことにより、建築時及び入居時において市の財源負担はない。

プロポーザルで業者を選定し、その業者が教員専用アパートを建築するとともに教員に月額 57,000 円以下で貸し付ける。道教委からの住宅手当により教員の実質負担額は 3 万円程度で済む見込み。

●文化財保存活用推進事業【歴史と自然の資料館】

【経過】

平成 2 年、旧花咲港小学校を大規模改修して根室市郷土資料保存センターを開館し、平成 16 年には博物館施設相当の指定を受けて「根室市歴史と自然の資料館」と名称変更、指定文化財を含めた貴重な資料の「収集・保存」「調査・研究」「展示・教育」に取り組んでいる。

昨年、北構保男氏より北方資料の寄贈を受け、本年 3 月に約 13 万点に及び資料の分類整理を終えたところであるが、今後は報告書の作成や遺物の保存処理等を進める必要がある。

現在の建物は、昭和 17 年に旧日本海軍の通信施設として建設されたものであり、大規模改修を行っているものの 30 年が経過し、老朽化・狭隘化が顕著となっている。

利用実績については、「根室半島チャシ跡群」が日本百名城に選定され、関連ツアーが企画されていること等により、平成 25 年度の 1,800 人から 29 年度は 3,500 人に急増している。こうした現状を踏まえ、今後の環境整備について検討している。

【事業目的】

貴重な収蔵資料の早期展示・公開、さらには施設利用者の利便性向上のため、新たな展示・収蔵スペースを確保するなど施設内の環境整備を進める。

【今後の方向性】

北構コレクションの早期展示・公開について多くの市民より要望が寄せられているが、既存施設の現状では展示・収蔵スペースが不足していることから、下記の環境整備について段階的に進めることを検討中。

- ・収蔵庫の増設
- ・大型資料室のスペース確保のための改修
- ・展示スペース改修
- ・屋根、エントランス（入口）、廊下、トイレ改修

●総合体育館整備事業【社会体育課】

【経過】

市内の公共体育館の役割を担っている青少年センターは、昭和45年に建設しており、経年劣化が進むとともに、スポーツの多様化に伴い狭隘化が顕著となっていることから、各競技団体をはじめ多くの市民より、新たな体育館の建設が求められている。

このため、平成28年3月に「根室市総合体育館建設基金条例」を制定し、1億円の基金積み立てを行った。同年12月には「根室市総合体育館整備市民委員会」を設立し、基本方針策定に向けた検討を進めるとともに、本年6月には中標津町総合体育館の視察を実施した。

市民意向把握については、平成29年度に「総合体育館の建設に関する市民・利用者の意向調査」を実施している。

- ・平成30年11月現在、基金積立額3億5,147万1千円

【事業目的】

誰もが日常生活の中で気軽に楽しく活動することができるスポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

【今後の方向性】

「市民・利用者の意向調査」の結果や「総合体育館整備市民委員会」における検討結果を踏まえ、本年度末を目途として「根室市総合体育館整備に関する基本方針」の策定作業を進める。

※参考：中標津町総合体育館整備までの経過

「基本方針」⇒「基本構想」⇒「基本設計」⇒「実施設計」⇒「工事」⇒「オープン」
(この間8年を要している。総事業費35億6千万円。建設地の選定に最も時間を要したとのこと。)